

消防宗像

平成28年
熊本地震へ応援出動！

平成28年熊本地震（最大震度7）の発生により、4月15日（金）から4月27日（水）までの13日間、宗像地区消防本部から車両3台、延べ42人を緊急消防援助隊（福岡県大隊）として派遣し活動を行いました。

地震概要

- 発生日時 平成28年4月14日（木）21時26分／前震 平成28年4月16日（土）1時25分／本震
- 最大震度 震度7（宗像地区管内 震度4）
- 地震規模 気象庁マグニチュード6.5／前震 気象庁マグニチュード7.3／本震（阪神・淡路大震災と同規模）

被害状況（平成28年5月27日現在）

- 死者 49人（宗像地区管内 0人）
- 行方不明者 1人（宗像地区管内 0人）
- 負傷者 1721人（宗像地区管内 2人）

隊員のはなし

15日派遣された隊員は、震度7という激しい揺れを経験し、「ゴーツという地響きを感じた直後に、地面から突き上げられたような激しい揺れにおそれ、身動きがとれませんでした。町の変わり果てた様子に地震のすさまじさをあらためて感じました。」と話していました。一日も早い復興を職員一同願っています。



行方不明者搜索活動（阿蘇郡南阿蘇村）



派遣隊出発式

緊急消防援助隊とは？～

緊急消防援助隊は、平成7年阪神・淡路大震災を教訓として、大規模災害時等に全国の消防が力を合わせて人命救助活動等を効果的に迅速に行えるように、消防の援助体制を整備するために創設されました。

～緊急地震速報って何？～

今回の熊本地震で多くの方が目や耳にされたと思いますが、緊急地震速報は、最大震度5弱以上の揺れが予想されるときに、震度4以上の揺れが予想される地域に対し、気象庁の発表を受けて直ちに各自治体に設置してある防災行政無線や、テレビ・ラジオのほか、携帯電話（スマートフォンを含む）の「緊急速報メール」などで伝えられます。緊急地震速報が発表されてから地震の強い揺れが来るまでは、長くても十数秒から数十秒しかありません。緊急地震速報を見たり聞いたりした際には、周りの人に声をかけながら『周囲の状況に応じて、速やかにあわてずに、まず身の安全を確保する』ことを心がけて行動しましょう。

救急車を寄贈していただきました

株式会社木村組（宗像市東郷）から高規格救急自動車を寄贈していただきました。地域に対する感謝の想いを持たれており、街中で救急車を見る機会が多く、「ひとりでも多くの市民の生命を守ってほしい」との想いから高規格救急自動車を寄贈していただきました。寄贈された救急車は、4月1日から宗像消防署本署で運用を開始しています。



マスコットキーを受け渡す木村組取締役相談役木村良一様（左）と小山組合長（右）



寄贈していただいた救急車

消防車を途上国へ！

宗像消防署で平成2年から25年間にわたり、宗像地区の安全と安心を守ってきた消防車を宗像地区での任期を終え、カンボジア王国のシアヌークビル特別市（人口約20万人）へ寄贈しました。シアヌークビル特別市は、老朽化が進んだ海外製の消防車が2台のみで、市民の安全を守るには非常に不安な状況にあるそうです。今後はシアヌークビル特別市の安全と安心を守る消防車として活躍してくれることを期待しています。



車両フロントガラスにクメール語で「日本の宗像から大いなる贈り物」とのメッセージと両国の国旗

一人一人が「自助」意識を持って！

～日頃の備え～

① 災害時に備えた備蓄品一例

物 品 名	
飲料水	一人1日3リットルを目安に、3日分を用意
食品	ご飯（アルファ米など一人5食分を用意）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう
下着、衣類	
トイレトーパー、ティッシュペーパーなど	
マッチ、ライター、ろうそく	
カセットこんろ（予備ボンベを多めに用意）	
ビニールシート、新聞紙	

② 非常持ち出し品の一例

物 品 名	
飲料水	
食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）	
貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）	
救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）	
ヘルメット、防災ずきん	携帯ラジオ、予備電池
マスク	使い捨てカイロ
軍手	ウェットティッシュ
懐中電灯	洗面用具
衣類	ナイフ・缶切り（万能ナイフ）
下着	紙コップ、紙皿、ラップ
毛布、タオル	ライター、マッチ

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や消防本部などが取り組む「公助」が重要だと言われています。

その中でも基本となるのは「自助」、一人一人が自分の身は自分で守ることです。特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。

地震についても、首都直下型地震や南海、東南海地震の発生が危惧されていたなかで、誰も予想していなかった「平成28年熊本地震」が発生しました。

また、これから台風等の風水害の危険が高まる時季となります。災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、身の安全を確保し、生き延びていくための水や食料などの備えをしておきましょう。

イベント＆ニュース

消防士募集

平成28年度宗像地区消防本部消防吏員採用試験案内

- 採用予定人員 消防職 4人程度、消防職（救急救命士）2人程度
- 試験日 平成28年10月16日（日）
- 受験資格 ①共通の受験資格 ①平成4年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人 ②平成29年4月1日からの採用に应じられる人 ※日本国籍を有しない人および地方公務員法第16条の欠格事項（民法の一部を改正する法律（平成11年法律第149号）附則第3条第3項の規定により従前の例によることとされる者を含む。）に該当する人は受験できません ③普通自動車、中型自動車、大型自動車のいずれかの運転免許証を取得している人 または平成29年3月末まで

に取得見込みの人
(2)消防職（救急救命士）の受験資格
救急救命士免許を取得している人または平成28年度実施の救急救命士国家試験において資格を取得見込みの人

- 身体基準 心身ともに健全で、次の条件を満たす人
- (1)視力は矯正視力を含み、両眼とも0.7以上で色力完全であること
- (2)言語明りょうで、聴力が左右とも正常であること

- 申込期間 平成28年8月10日（水）から9月5日（月）まで
- 問い合わせ先 宗像地区消防本部消防総務課 ☎0940（36）2872 ※採用人員等は7月1日現在における予定に基づくもので、変更になる場合がありますのでご了承ください

平成28年度第2回危険物取扱者試験案内

- 試験種類 全種類
- 試験日 福岡・筑豊地区 10月23日（日） 北九州地区 11月6日（日）
- 願書配置予定 8月5日頃から消防本部・各署所に配置予定
- 願書受付 8月23日（火）～9月6日（火）まで
- 会場 ▽北九州（未定）▽福岡（西南学院大学）▽筑豊（福岡県立大学）▽筑後（久留米大学御井学舎）

危険物取扱者試験受験準備講習会

- ◎危険物取扱者試験の受験対策として準備講習会を実施
- 講習種類 乙種4類
- 講習日時 9月下旬、午前9時～午後5時
- 受付 8月中旬から
- 講習場所 宗像地区消防本部

拍子木貸出のご案内
「秋季火災予防運動期間」

- 貸出用途 防火夜回り
- 貸出し 11月1日（火）から
- 受付期間 10月9日（日）～10月31日（月）まで
- 貸出場所 宗像地区消防本部

平成28年度第2回甲種防火管理新規講習会

- 講習種類 甲種防火管理新規講習
- 講習日時 10月20日（木）～10月21日（金）午前9時～午後5時
- 受付 9月20日（火）から
- 場所 宗像地区消防本部
- 問い合わせ先 消防本部予防課 ☎（36）3080

救命講習の受講者募集
受講料無料！！

- 消えかけた命を救うのは、身近なあなたの応急手当。個人やグループでの参加をお待ちしています。
- 講習種類 ①普通救命講習1 7月17日（日）9時30分～12時30分（3時間） ②上級救命講習 10月16日（日）9時～18時（8時間）
- ※上級救命講習は1時間の昼休みがあります
- 講習内容／AEDの使用方法・心肺蘇生法・その他の応急手当
- ※受講料は無料です、お気軽にお問い合わせください
- 講習場所 宗像地区消防本部 講堂
- 申し込み・問い合わせ先 消防本部救急課 ☎（36）2455 ☎（37）0011
- Eメール kyukyuu@munakata.t19.jp